
IS イタリア代表候補生のプロポーズ大作戦！！

edaeda

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS イタリア代表候補生のプロポーズ大作戦！！

【Nコード】

N9856X

【作者名】

ed a e d a

【あらすじ】

イタリアの代表候補生ルーク・アルジェ・スタッカートを中心に繰り広げられるドタバタラブ？コメディです。

プロローグ

あの日……

世界が変わった日

IS インフィニット・ストラトスが発表された日世界は変わってしまった。

今までの兵器を圧倒的する性能に世界が震え全ての価値観をも変えてしまったIS……

俺の人生はというと割りとISのお蔭で無茶苦茶だ。

普通男はISを起動出来ないんだが幼なじみの家がISを作ってる会社で遊びに行ったときに……動かしてしまったわけだ

確かにISのお蔭で待遇は良くなったけど周りの女達がうざい。

言い寄ってくる女達はルーク・アルジェ・スタックカートではなくISを動かせる男でしか見ていなかった。

そんな周りに嫌気がさしていたときにIS学園への転入だ。

正直ここから逃げれるならなんでも最高だ

特にIS学園は美人が多いって聞くし未来の奥さんでも探そうかなw

プロポーズ大作戦始まります

プロローグ（後書き）

最初はこんなもんかな？

金髪ドリルと狙われたモッピー（前書き）

モッピー狙われますw

金髪ドリルと狙われたモッピー

金髪ドリル「決闘ですわ!!」

イタリア

な主人公「……………だる」

どうもみなさんこんにちは

今作品の主人公のダースベイダーです。

……………すまん冗談だ

ルーク・アルジェ・スタツカート

それが名前だ

今現在素晴らしくめんどくさいことになりやがってる

オリムラとか言うヘタレがイギリスの代表候補生に喧嘩を売ったせいで俺まで決闘をする羽目になった

正直めんどくさいにもほどがある

つかi s嫌いなのになんで決闘しなきゃならないんだ

理不尽すぎるだろ

まあそれはヘタレ唐変木がなんとかしてくれるだろうから置いておいて……

それにしてもあの金髪ドリルといいIS学園はレベルの高い女子が多いな

特にあのシノノノとか言う見た目は俺のドストライクなヤマトナデシコ

顔はなかなかいいスタイルも……特に胸が最高だなw

はてどうやって口説こうか？

金髪ドリル「ちょっとあなた!!」

正攻法・・・いや唐変木を利用して強気にせめ」「聞いてますの？
！」「うっせーきいてないに決まってるだろ

金髪ドリル「なななな！！」

ルーク「金髪ビッチドリルさんや俺は今大事な考えごとしてるんだ
話しかけてくんなしっしっφ(。°。°)ノ。」

金髪ドリル「ああああああなた決闘のときには覚悟してなさい！
！！」

といって席に座った

さて邪魔者も居なくなっただしシノノノさんの攻略方法でも考
えるか

狙い打つぜ！！w

金髪ドリルと狙われたモッペー（後書き）

なんじゃこりゃ
w

モッピ―と土下座とプロポーズ（前書き）

ただの変態だ――（・・・）

モッピーと土下座とプロポーズ

金髪ドリルに決闘を申し込まれたホームルーム後……

ルーク「シノノノさん!!」

第「んっ たしかルークとか言ってたか?何かようか?」

ええありますとも重要なお話しがw

ルーク「シノノノさん俺と結婚してください!!」(土下座)

………

第「……はあ!?!」

生徒全員「ええええええええええええ!!」

決まっただぜ(「」どや

第「いいいいきなり何を言い出すのだ!?!」

シノノノさん顔真っ赤だその顔も最高ですw

ルーク「いや日本では好きな人の前で土下座をして結婚の約束をするって聞いたから実行したんだけど」

唐変木「それ娘を僕にくださいってやつだろ？」

そうなのか？

ありがとう唐変木君のことはわす」

唐変木「いや死んでないし！！」

チツ

唐変木「舌打ちされた！？」

唐変木はほっという・・・でシノノノさん返事のほう？

第「えつとその・・・・・・気持ち嬉しいのだが私にはその・・・一夏が・・・」

一夏？

確か唐変木の名前は一夏・・・・・・

まさかね

ルーク「シノノノさんもしかしてこの唐変木のがすう」わわわわ
わっつわ言っつな！！言わないでくれ！！」

真っ赤な顔がさらに真っ赤に・・・純情だなあ

かわいいじゃないかw

唐変木「箒顔真っ赤だぞ？熱でもあるのか？」

この唐変木がシノノノさんがかわいそすぎる

ルーク「おいオリムラ・唐変木・イチーカ！！」

一夏「なんだよその変な名前・・・第一俺は人一倍周りに敏感」「
嘘だ！！！！」

いったいどの口がほざきやがる

このシノノノさんをみてなんとも思わないやつが周りに敏感とか抜
かすなよw

そうだろみんな？

周りの女子「うんうん」

一夏「そんな馬鹿な!!」

いやそこは認めような唐変くん

ルーク「まあなんだせつかくの男二人な訳だし仲良くしようや。」

一夏「ああよろしく。」

きつちりと握手を交わす。

ルーク「そうそうオリムラ今度この子達紹介してやるからシノノノさん堕とすの手伝ってくれない?」

一夏「箒を?・・・すげー美人ばかりだけどいいのか?」

ルーク「ああいいぜ。今度合コン開いてやるよ」ニヤリ

一夏「わかった。協力するよ」ニヤリ

流石はオリムラ話しがわかるフフフフ
越後屋お主も悪よのーw

一夏「いやいやお代官様ほどではw」

ノリもいいときたなかなか仲良くデキソウだ

若干放置してたけどさてシノノノさん返・事わ?w

第「……気持ちは嬉しいが御断りす「あーあ聞こえないw」最後まで人の話を聞け!!!」

てっシノノさんから金色のオーラが!!

まさかスーパーサ○ヤ人にちょシノノさん間接はそっちには曲がないってアーーーーー

ここからはR指定なので妄想ダケデお楽しみくださいw

拝啓父さん、母さん

ルークは今日も頑張って生きています○

モッピ―と土下座とプロポーズ（後書き）

―夏との同盟ができたようです（笑）

第さんは怒るとス―パーな人に変わるようですw

女1人と男2人の同棲生活（前書き）

部屋割りの話です（＾－＾）／

いろいろ頑張れルークw

女1人と男2人の同棲生活

ルーク「はあ〜」

どうもルーク・アルジェ・スタツカートだ

シノノノさんにこっぴどく怒られて現在意気消沈中です。

シノノノさんオリムラには優しい？のにな・・・

一夏「どう見たらそう見えるんだよ？」

お前の時はもつとかわいらしぞ

一夏「・・・・・・・・鬼しかみえないが。」

・・・・・・・・見えなくはないな

そつえば俺たちの部屋どこだっけ？

一夏「一応山田先生に紙もらったからこれ見れば大丈夫だぞ。」

とりあえず部屋行くか。

~~~~~

女子寮in俺たちの部屋前

なあオリムラさんや

一夏「なんだ？」

女性人の視線が痛いんでなんとかしてくれ。

一夏「無茶言うな俺も辛いんだ。」

まあ目の保養にはなったがw

一夏「確かにw」

部屋の前に行き着くまでの廊下で際どい格好の人たくさんいたしな  
最近の子達はやばいねw

でオリムラ鍵はもってるのか？

一夏「一応あるぞ。ちょっと待ってるよ……ん……なんか  
鍵開いてるっぽいぞ？」

たぶん山田先生辺りが開けておいてくれたんじゃないか？

一夏「そうかもな」

部屋に入ると木の素材をいかしたキレイな机やベッドが3つずつ置  
いてあって若干他の部屋より広々としていた。

ベッドが3つってここは元々来客用のところなのか？

まあいつかオリムラ俺シャワー先浴びていいか？

一夏「ああいいぞ」

じゃあ先入るわ。

それにしても今日は疲れたな

やっぱり女ばかりだと精神的にきついんかな

さてシャワーシャワーっと

ガチャ

箒「・・・・・・・・あつ」

ルーク「えっ・・・・・・・・シノノノさん・・・・・・・・」

箒「・・・・・・・・」

ルーク「・・・・・・・・」

えっと失礼しました。

ガチャ

[illegible]

いいものをお持ちでW

第「見られた見られた見られた見られた見られた見られた見られた見られた見られた見られた／＼」

何を恥ずかしがっている私！！

一夏に見られたら怒るはずなのにあいつに見られて恥ずかしさのあまりしおらしくなるなんてどうかしてる・・

元はと言えばあいつが私にぷぷぷポーズなんてするからだ、そうに違いない！！

出たらっーんと怒らねば!!

ルークside

ルーク「(・・・;)」

一夏「おいルーク一体どうしたんだよ?! 顔真っ青だぞ?」

オリムラ「・・・俺

今日が命日かも

一夏「はあ? なんかの病気か?」

ちがうちがうー

俺さシャワー浴びに行ったときに何故かシノノノさんいてその裸み  
みちゃってさ

もう絶対嫌われた・・・オワタぜ

一夏「いやまず裸みた時点殴られてると思うぞ箒の性格からして」  
幼なじみの性格を熟知している一夏にとって箒の機嫌を損ねる＝竹  
刀で撲殺ルートが確定してるようだ

カチャ

箒「…………一夏」

ようやくシャワー室から箒が出てきたみたいだ。

一夏「箒ようやく出てきたのか？」

箒「あいつ…………ルークはどうした？」

一夏「イスに座って燃え尽きてる」

箒「はあ？」

箒意味がわかってないならあれを見る

ルーク「（。ロ。）」「ポカーン

箒「…………なんであいつはあーなってる？」

箒の裸をみて嫌われるとおもってショックを受けたまいぞ

箒「・・・（こんな状態みたら怒る気も失せる）で一夏ルークをどうすればいい？このままにしておくか？」

一夏「このままにしておくのもあれだしベッドに寝かしておこうか。箒も手伝ってくれよ！」

ルーク「（。□。）」

箒「ああわかつている。一夏ルークをベッドに移したら晩御飯をとるでしょう！」

一夏「そうだな。ついでにルークの分の晩飯取りに行けばいいしな。」

ルーク「（。□。）」

ルークをベッドに移し一夏と箒は仲良くご飯を食べたそうだし面白い。

ルーク「（。□。）（。□。）」

拝啓 父さん、母さん

今日あなた方の息子はさらにいろんな意味で成長しました

女1人と男2人の同棲生活（後書き）

頑張れルーク（＾o＾；）

書いてて苦しかったぜw

## 設定（前書き）

ルークの設定です。

## 設定

### ○主人公

ルーク・アルジェ・スタツカート

### ○身長

179・9cm（本人は180と言い張るw）

### ○性別

男

### ○容姿

ぺるそな4の番町w

### ○備考

16歳の時に両親と恋人を事故？で亡くしている。

両親と交友があったイタリア最大のIS開発をしているインダストリアル社の幼馴染の家に双子の弟と一緒にやっかいになる。

幼馴染の家のインダストリアル社の手伝いをしている時に未完成のISのコアに手を触れてしまった瞬間、反応したため世界で二番目にISを起動させた男性となった。その後、弟の強制で牢獄IS学園に入学する（笑）。

最近の悩みは、弟がウサミミつけた爆乳な年上を研究室につれこんでいることである。

ウラヤマシイゾ！！w

### ○専用IS名 ワイルド

制作者、ガイナス・アルジェ・スタツカート、ウサミミさん（技術提供）

## 世代、第？世代型

待機状態、透明なカード（ぺる○な！！）

ガイナスが兄の為に開発したIS、名前の由来はUNOのワイルドカードW

機体の所々にウサミミさんの開発した技術が盛り込まれている。  
見た目が装甲ではなく真黒な服のまま（FFACのクラウドみたいな服）

単一仕様能力により性能が変わる

○単一仕様能力 ワイルド

ワイルドとは武器の形状を変える画期的システムである（イメージはレイブのテンコマンドメンツ）

あらかじめ登録した武器をイメージすれば武器形状をかえることができる。

ただ難点は使いすぎると眠くなることであるw

## 設定（後書き）

おしゃねばーんちよー！……！！！！！！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9856x/>

---

IS イタリア代表候補生のプロポーズ大作戦！！

2011年11月14日04時55分発行